

って行う共同事業で、中心となるアーティストが固定しており、**あらかじめ決定している日本と海外双方の事業パートナーが、計画性を持って複数年(継続して)作業を進展させていくこと**

※公演段階での申請は、セゾン・フェローとして助成歴がある、または過去対象事業の継続申請のみ受け付ける。

※事業展開例:

- ・ リサーチや滞在制作を経て日本公演後、海外ツアー。
- ・ 既に発表した作品をリサーチし直し、発表と複数の派生事業を実施。
- ・ 互いのレパートリーを交換し、協働による新作創作を経て、劇場公演を実施。

※なお、同一事業の助成は3年を上限とし、計画された期間内に完結することが望ましい。継続の可否は毎年見直す。

■ 提出資料:

- ① 所定の申請書
- ② 申請プロジェクト全体の企画書
 - ・ 複数年計画を年(度)別に表記
 - ・ 中心となる構成員の詳細プロフィールを含める(舞台写真、顔写真など含む)
- ③ 申請年度(2026年度)の事業収支予算明細書
- ④ 中心となる参加者の共同作業合意書、または受入団体からの招聘状(日付、条件、署名など必須)
- ⑤ エッセイ[申請者]
- ⑥ エッセイ[事業パートナー]

※⑤・⑥では劇作、演出、プロデュース担当等、事業の中核となる人物が、「事業の目指すところ」を具体的に執筆すること。(各2,000字/日本語以外の原文700ワードには和訳添付)

次世代の芸術創造を活性化する研究助成 2026年度

次世代の芸術創造を活性化する提案や政策提言を目的にした調査研究活動を支援する助成プログラム。

申請書交付申し込み:2025年8月1日～9月18日(最終日17:00)

面談期間:2025年9月4日～9月26日

「申請書」および資料提出締切:2025年10月2日(最終日17:00)

※資料提出締切後、書類選考を実施し11月下旬に結果通知。通過者は、当財団アドバイザー委員会に対しプレゼンテーションを行う。(詳細は通過者に連絡)

オンライン説明会:2025年8月13日19:00-19:30

※オンライン説明会の日時やお申し込み方法は[こちらのページ](#)をご参照ください。

■ 対象事業:

現代演劇や舞踊界の創造を持続可能にする政策提言

現代演劇や舞踊界の持続可能性に対する問題意識を土台に、文化政策の制度や仕組みに変化を促すことを目的とする調査、研究を行い、その結果に基づいて、国や地方自

■ 対象者:

下記条件を満たしている個人やグループ(アーティスト、制作者、研究者等)、または芸術団体や文化機関、中間支援団体等

- 2026年3月31日時点で原則45歳以下で、日本に活動拠点を置くこと
 - ※団体で申請する場合は、研究事業の代表者が原則45歳以下であること
- 研究経過や成果等の報告をすること

※事業対象期間中に研究の成果と提案内容を取りまとめた研究レポートを提出すること。

※研究成果について、学会やシンポジウムなどでの発表、当財団のニュースレターへの執筆などを期待する。

■ 助成内容:



治体等の公的機関や民間団体へ具体的な政策やプログラムを提言する事業。

- ※ 提案や政策提言の対象は舞台芸術界、国や地方自治体等の公的機関、民間企業や財団法人・社団法人、NPO法人などの設定は自由。
- ※ 国や地方自治体等公的機関の委託研究や科学研究費助成事業は対象外。ただし他の補助金や助成金との組み合わせは可。

個人寄付のお願い

セゾン文化財団では、現代演劇・舞踊分野の促進を目的とする支援活動のためのご寄付を、個人の皆様から募っています。寄付プログラム「次世代の芸術創造を活性化する研究助成」は匿名の個人の方からの寄付金を財源に、2020年度から若手研究者支援のために開始いたしました。

皆様のご賛同を仰ぎ、格別のご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

個人寄付のお申し込み

お名前やご連絡先等を以下のGoogleフォームからお申込みください。

Google フォーム :
<https://forms.gle/ACEughCQLBpeVT9a8>

- ※ ご寄付は所得税法第78条該当の寄付金控除の対象となります。
- ※ ご寄付の特典等の詳細については、上記のフォームをご参照ください。

- ・ 個人の場合、1件につき50万円を上限に、研究経費の一部に対して助成金を交付する。
- ・ グループまたは団体の場合、1件につき100万円を上限に、研究経費の一部に対して助成金を交付する。

- ※ 申請者が所属する組織の間接経費、一般管理費等は助成の対象外。
- ※ 助成終了後の収支決算で余剰金が発生した場合、助成金の一部の返還を求められることがある。

■ 提出資料:

- ① 所定の申請書
- ② 申請者の詳しい経歴
- ③ 研究計画書
- ④ 収支予算明細書
- ⑤ その他、事業に関連する資料(類似研究等の実績が分かる資料など)

※本プログラムは個人からの寄付を財源に2020年度からスタートしました。

[パイロットプログラム] 海外リサーチ活動支援 2026年度

現代演劇・舞踊界での活躍が期待される芸術家、制作者、舞台技術者等の国際的な活動を支援する助成プログラム。

申請書交付申し込み: 2025年8月1日～9月18日(最終日17:00)

「申請書」および資料提出締切: 10月2日(最終日17:00)

オンライン説明会: 2025年8月6日19:00-19:30

※オンライン説明会の日時やお申し込み方法は[こちらのページ](#)をご参照ください。

■ 対象者:

下記条件を満たしている個人やグループ、芸術団体

- A. 現代演劇・舞踊分野で活動する芸術家、制作者、舞台技術者
- B. 海外で20日以上のリサーチ活動を希望すること

